

きく組の様子 (No.3)

友達と身体を動かしながら、クラスや学年で一緒に取り組む楽しさを知り、様々な集団遊びにも興味をもつようになりました。運動会後には、様々な固定遊具に挑戦したり、自分達でリレーの準備をしてクラス皆でバトンを繋いでみたりしました。また、友達と関わって遊ぶ中で、自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いに気づいたりすることで遊びが広がる姿も見られています。



走るリレーだけでなく、お玉の上にポンポンを乗せて運ぶリレーもしました。また、他の物を使ったバランスゲームをすることが増えました。

友達を通れるように、手の高さを考えてトンネルを作ったり、前に詰めすぎた時は互いに声掛け合ってみんなが楽しくできるように工夫したりしていました。



リレーに興味がある子が実際に年長児に教えてもらい、自分達でできるようになりました。自然と友達を応援する声が聞こえてきます♪

中秋の名月にちなんで「じゅうごやさんのもちつき」の手遊びをやってみたところ、出来そうで出来ない難しさに夢中になっています。二人組になってやりきる子も増えました。



わらべうた『ちんちろりん』ブームのきく組では、折り紙で作った動物達を使って歌をうたうなどの人形劇ごっこをすることがあります♪

日中が暖かい時には裸足になって遊ぶ子もいます。泥団子を作っていると、「黄な粉味にする?」と他の遊びをしていた子達がサラサラ砂を持って加わりました。



年少児との交流でパラバレーンを一緒にしました。優しく持ち方や技のコツを教えたり、大きな声で掛け声を出したりしていました。今後は、好きな遊びでも交流の時間を増やしていきます♪

芋蔓を編んで輪を作り、それを輪投げにして遊ぶ中で、ルールを自分達で考えていました。近くで見えていた年少児にも優しく声を掛け、遊びに誘っていました。



遊びや生活に必要な環境を自分達で整えてみようとする姿が見られてきました。繰り返し遊ぶ中で、ルールや遊び方を変化させながら遊び込んでいます。引き続き、自分なりに考えたり工夫したりしながら、様々な表現を楽しむことができるように関わっていききたいと思います。